

氏名	高 田 超 爾
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 2 号
学位授与の日付	昭和38年4月13日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	各種スルフォンアミド剤の骨髓造血機能に及ぼす影響 —骨髓組織培養による—
論文審査委員	教授 平 木 潔 教授 小 坂 淳 夫 教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 要 旨

各種スルフォンアミド剤の骨髓造血機能に及ぼす影響を究明するために、家兎骨髓組織に各種スルフォンアミド剤を直接添加し骨髓白血球系は被覆法により増生面積、密度及び偽好酸球機能、即ち、遊走速度、墨粒どん喰能について観察し、更に骨髓赤血球系は液体培養法により赤血球数、網状赤血球数及び血色素量の増減について観察した。その成績を総括すれば以下の如くである。

1) 各種スルフォンアミド剤(スルフェニルアミド、スルファピリディン、スルファチアゾール、スルフィソキサゾール、スルフィソミディン、カルブタミド)は共に常用量投与時の血中の濃度に相当する濃度に於ては骨髓細胞増生に対して見るべき影響を与えず、偽好酸球機能に対して軽度の抑制作用を示し、赤血球造血機能に対して軽度の抑制作用を示す。

2) 各種スルフォンアミド剤は共に高濃度においては骨髓赤、白両血球系造血機能に対して抑制的に作用するが低濃度になるに従い抑制作用は減少する。

3) 各種スルフォンアミド剤の間に作用の特異性を認めない。

岡山医学会雑誌 第74巻 4, 5, 6, 7合併号(昭和37年7月30日発行)に掲載

論文審査の結果の要旨

高田超爾提出の「各種スルホンアミド剤の骨髓造血機能に及ぼす影響—骨髓組織培養による—」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

著者は骨髓培養法を用いて各種スルホンアミド剤の骨髓に対する直接影響を研究している。

即ち第一編に於ては被覆法を用いて研究し、常用量投与時の血中濃度に相当する濃度に於て、家兎骨髓組織増生に対して直接見るべき影響を及ぼさないと結論している。

第二編に於ては被覆法を用いて研究し、常用量投与時の血中濃度に相当する濃度に於て、家兎骨髓偽好酸球機能（遊走能並びに墨粒貪食能）を直接軽度に抑制すると結論している。

第三編に於ては液体培養法を用いて研究し、常用量投与時の血中濃度に相当する濃度に於て、家兎骨髓赤血球増殖を直接軽度に抑制すると結論している。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。